



コペンGR&C-HR GR徹試乗

たまに見ると萌えるクレマの話

12・26
2019

ベストカーは
10日/26日発売です!

NextCar

ARIA

カー雑誌
実売部数ナンバーワン!

定価 420円

講談社ビーシー/講談社



特集 SCOOP!スペシャル

日本車

2020

年 期 待 の 星

Zの再起
パジエロ復活の
青写真!



EVユートピアは実現可能か

クルマ界迷い二者択一

いい年こいたオッサンがねだる

おねがいサンタクロース

吉優レーシング独占取材

声優チーム

トヨタYARIS

小型車の
革命児
ヤリス
街車
初試乗

創業間もない頃のカタログ



高瀬謙生（たかせみねお）社長は1951年生まれの68歳。一般社団法人日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会（NAPAC）の会長も務め、その精力的な活動は衰え知らずだ

高瀬謙生（たかせみねお）社長は1951年生まれの68歳。一般社団法人日本自動車用品・部品アフターマーケット振興会（NAPAC）の会長も務め、その精力的な活動は衰え知らずだ

工業製品はシートもそうですが、CAD（キャド）で設計することも多くなりました。量産の最終形には、ズレが生じます。それはさまざまな要件が加えられるからです。そのズレは人間の手であわせられればいいのですが、大量生産するものには向きません。ひとりひとり、座る人によって感想が違うわけです。そ

ブリッドがシート作りで大切にしているのは、ひとつひとつ手作りで仕事を進めることです。というのも、シートはひとりひとり、座る人によ

トラック専用シートZAOU



長距離の運転や一日何十回の乗降などが当たり前のトラックドライバーの負担を軽減のため専用設計されたZAOU（ザオウ）は大人気だ

高瀬謙生社長に聞くBRIDEのこと

社名のBRIDEはスティーブ・マックイーン主演の映画BullittとHYBRIDを掛け合わせた高瀬社長発案の造語



シート素材はもちろん手縫い。さまざまなデザインや形状があり、ひとつひとつ丁寧に仕上げていく



シート素材とクッション素材をシェルに組み込む際には、スチームでしっかりと合わせていく



シートレールも手作りで仕上げていく。シートレールの型は1000種類もあるというから驚きだ

に近く、東京の蒲田や東大阪と同じく技術力のある小規模な工場が多い地域だという。BRIDEの工場も決して大きい。高瀬さんは「小

さな工場だし手作りです」と言つものの、モノ作りの現場として見たらなかなか興味深い。確かに小規模ながら、素材から完成まですべてリーン

にコントロールできている。

「大雑把」の反対です。

パーツ類はトヨタ流の「カ

ンパン」で管理されており、

必要な分が必要な分だけ常時

持っているのかまったく知り

ませんでした。今年ロードス

ターレースの際、BR

IDE代表の高瀬さんとシート

について話をしていたら「工

場を一度見に来ませんか?」。

「そういえばバケットシート

の生産工程は見たことないで

ふたつ目が車検対応シートレールの多さ。私の競技車両はIDEながら今回取材するまでどんなバックボーンを

持っているのかまったく知り

ませんでした。普通のクルマ以上にシートは重要なのだ。

ふたつ目が車検対応シートレールの多さ。私の競技車両はIDEながら今回取材するまでどんなバックボーンを持っているのかまったく知りませんでした。今年ロードスター耐久レースの際、BRIDE代表の高瀬さんとシートについて話をしていたら「工場を一度見に来ませんか?」。そういえばバケットシートの生産工程は見たことないで

私が持っている競技車両のシートはすべてBRIDEです。なぜか? まず信頼性。さまざまな競技で使われているけれど、今までシート起因のトラブルを聞いたことがない。競技で使われるパツつて、当たり前だが極限で使われ、予期しない大きなクラッシュだつてあります。普通のクルマ以上にシートは重要なのだ。

ふたつ目が車検対応シート

レールの多さ。私の競技車両はMIRAもWRX S4もBRIDEで使われています。愛用しているBRIDEながら今回取材するまでどんなバックボーンを持っているのかまったく知りませんでした。今年ロードスター耐久レースの際、BRIDE代表の高瀬さんとシートについて話をしていたら「工場を一度見に来ませんか?」。そういえばバケットシートの生産工程は見たことないで

スポーツシート一筋、手作りにこだわる



丁寧な仕事が安心、安全を生む

BRIDE工場潜入ルポ

TEXT/国沢光宏 PHOTO/西尾タクト



従業員わずかに15人で月間1000脚近くのスポーツシートを製作するBRIDE（ブリッド）。手作りにこだわる本社工場を取材した

す!となり、今回お邪魔させていただいたしだい。

場所は愛知県の東海市。海

が持っている競技車両のシートはすべてBRIDEです。なぜか? まず信頼性。さまざまな競技で使

われているけれど、今までシ

ート起因のトラブルを聞いた

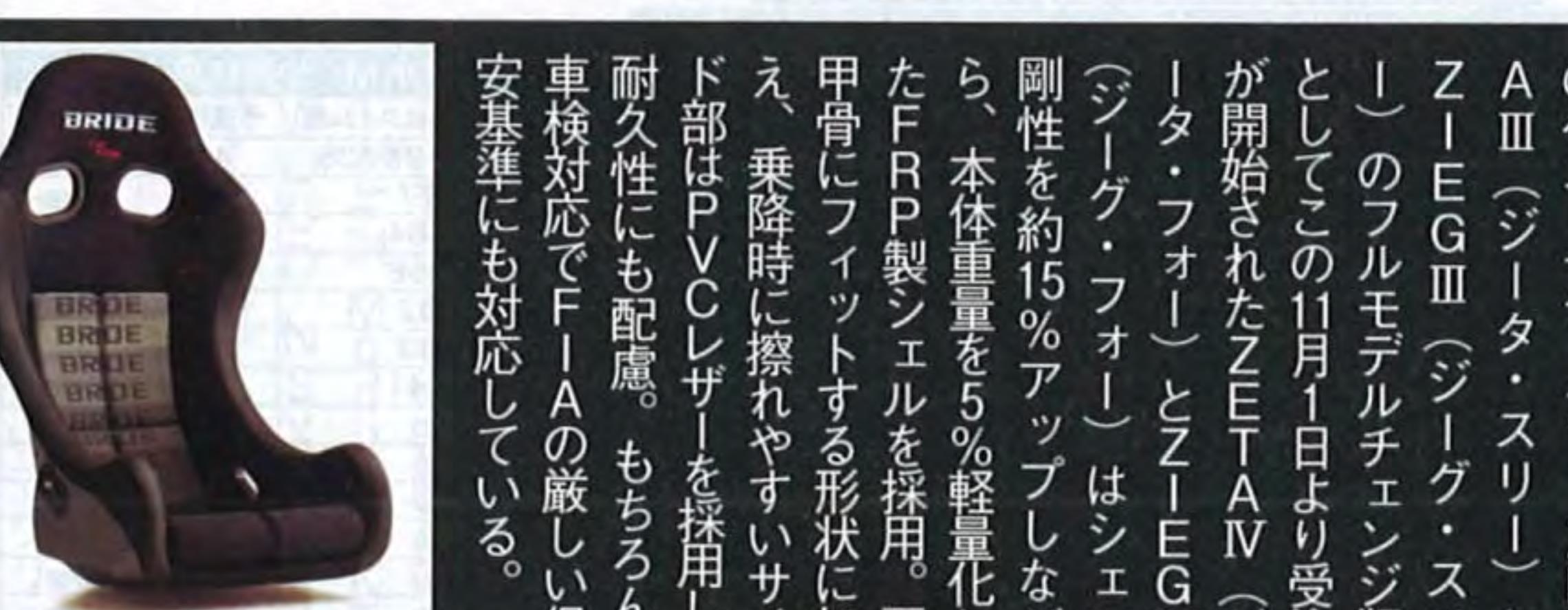
ことがない。競技で使われる

パツつて、当たり前だが極限で使われ、予期しない大きな

クラッシュだつてあります。普通のクルマ以上にシートは重要なのだ。



1mmでも低いポジションを得るため最新モデル用シートレールの幅をえぐったシェルを開発



製造部部長の大田さんは「細かく目配りしながら、温かみのあるいいシートを作りたい」と語る



ベストセラーが16年ぶりのFMC



2003年登場のブリッド

A III（ジータ・スリー）と

Z-EG III（ジー・エグ・スリ

ー）のフルモデルエンジ版

（ジーグ・フォー）とZ-EG IV

（ジータ・フォー）はシェル

ド部はPVCレザーを採用し、肩

甲骨にフィットする形状に加え、乗降時に擦れやすいサイ

ナリ、本体重量を5%軽量化し

たFRP製シェルを採用。肩

剛性を約15%アップしなが

ら、本体重量を5%軽量化し

たF RP製シェルを採用。肩

剛性を約15%アップしなが

ら、本体重量を5%軽量化し

たF RP製シェルを採用。肩</